

「白銀の世界」六甲山上に着々 スノーパーク造雪作業スタート

パイプから勢いよく吹き出される人工雪＝六甲山スノーパーク



神戸市灘区の人工スキー場「六甲山スノーパーク」で1日、シーズン前の造雪作業が始まった。パイプから吹

き出される人工雪が、白銀の世界をつくっている。約7700トを積もらせ、12月6日にオープンする。

同パークは昨年、六甲山人工スキー場から改称。広さ約3万7千平方メートルに、ゲレンデ3カ所のほか、雪ぞ

りや雪遊び専用の「スノーランド」を備える。

霧が立ちこめる中、製氷機で直径5センチ程度の砕かれた氷が

パイプから放出され、少しずつ雪山ができていった。製氷機2台で1日220トの人工雪を作れるという。

同パーク広報担当の

野口竜太郎さん(23)は「雪遊びもできるのので、子どもから大人まで気軽に来てほしい」とPRしていた。

(斉藤正志)